

1次式とその項

文字を使った式は、いくつかの項こうからできている。

$\frac{1}{5}x - \frac{3}{5}$ の式では、
文字をふくむ部分の $\frac{1}{5}x$ と、
数の部分の $-\frac{3}{5}$ で表されている。

このとき、 $\frac{1}{5}x$ 、 $-\frac{3}{5}$ のそれぞれを項という。

ここで、 $\frac{1}{5}x$ のように1つの文字をふくむ項を、1次いちじの項という。
1次いちじの項の文字にかけられる数けいすうを係数けいすうといい、 $\frac{1}{5}x$ の係数は $\frac{1}{5}$ となる。

1次いちじの項だけの式や、1次いちじの項と数すうの項で表される式を1次式いちじしきという。

1次式とその項や係数

1次式の $\frac{1}{5}x - \frac{3}{5}$ は、 $\frac{1}{5}x$ と $-\frac{3}{5}$ の2つの項で表されている。

1次いちじの項は $\frac{1}{5}x$ で、この項の係数は $\frac{1}{5}$ になる。

1次式の例： $\frac{3}{5}x + \frac{5}{7}$ 、 $-\frac{2}{3}a$

1次式の項をまとめる

1次式の同じ文字の項や数の項は、それぞれまとめて計算することができる。

$$\begin{aligned}
 & \text{①} \quad \frac{3}{4}x + \frac{1}{2} - \frac{5}{6}x + \frac{1}{3} \\
 & = \frac{3}{4}x - \frac{5}{6}x + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} \\
 & = \frac{9}{12}x - \frac{10}{12}x + \frac{3}{6} + \frac{2}{6} \\
 & = -\frac{1}{12}x + \frac{5}{6}
 \end{aligned}$$